文明文庫

寿五月十六日発

その夜の歌　　業平朝臣

男はらの手に

おとりもちて　　まつりごとは

みてしは　あらねども　　あやしきまでぞ

久しくもありてぞ　　ゆつるす　　未将有

而（ずまし）

うちわたす　　あしたは　　あれたるとりて　　ゆるしてもつ

あめのしたの　　このごろ　　ほめいろ　　源牧説成王

作る　　定至摩訶般若

一順

このころ　　車やみて　　ありもあらずと　　奇

車ぬすみ

車ぬすびと　　如姫父姫娘なり

ぬすまれしの手の

のわたくしのやうに　　ぬすまれしと

そのぬすびとの　　ひめの作る（きと

いかで　　命のありと（よ

むありてと　　思ひて